

# 第1章：計画課題

## 1. 「加西市エンゼルプラン」における 基本的な考え方と課題

「加西市エンゼルプラン」では、基本的な考え方と課題について、次のように整理しています。

計画の基本的な考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>① 人間としての子どもの尊重</li><li>② ニーズに即応した子育て支援サービスの充実</li><li>③ 社会全体で子どもを育てる仕組みづくり</li><li>④ 家庭での子育てがしやすい環境づくり</li><li>⑤ 子育てを支援する就労環境の整備</li><li>⑥ 加西市の特性を踏まえた事業の展開</li></ul>
課題	<ul style="list-style-type: none"><li>① ニーズに対応した保育サービス等の充実</li><li>② 子育て期の不安を解消する対策の推進</li><li>③ 子育てを支援する就労環境の充実</li><li>④ いのちを守る子育て環境の充実</li><li>⑤ 子どもの声が聞こえるまちづくりの推進</li></ul>

## 2. 新たな課題

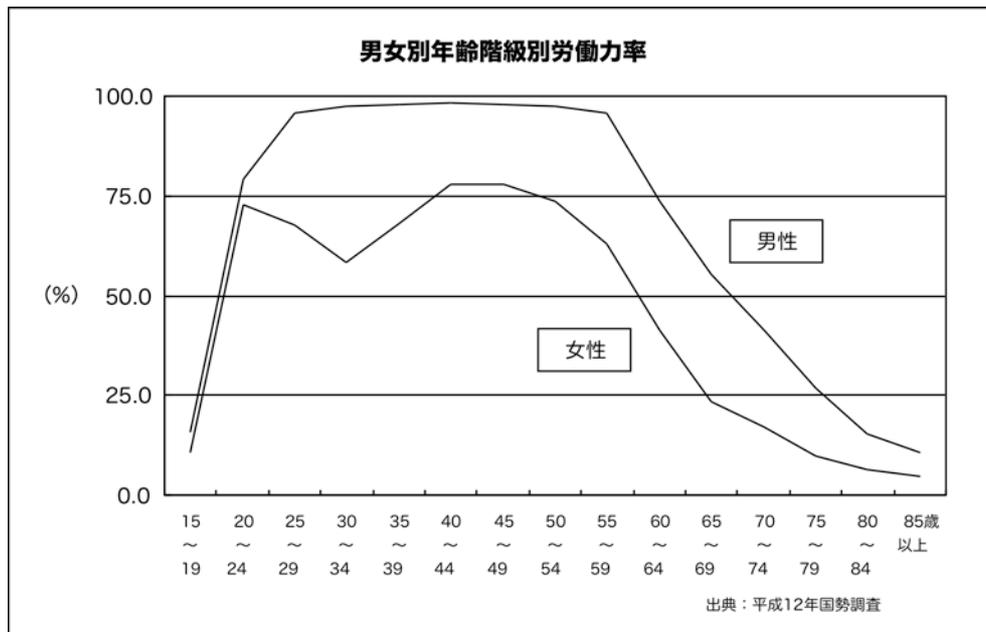
本計画では、前計画の基本的な考え方と課題を概ね踏襲するとともに、社会状況等を踏まえて、次のように計画課題を再整理します。

- (1) 男女共同参画社会づくり
- (2) 保育サービス等のニーズの多様化・拡大への対応
- (3) 子育て環境の貧困化・弱体化（家庭・地域の「子育て力」の低下）への対応
- (4) 子どもと子育ての安全確保
- (5) 子どもを生き育てたいと思えるまちづくり

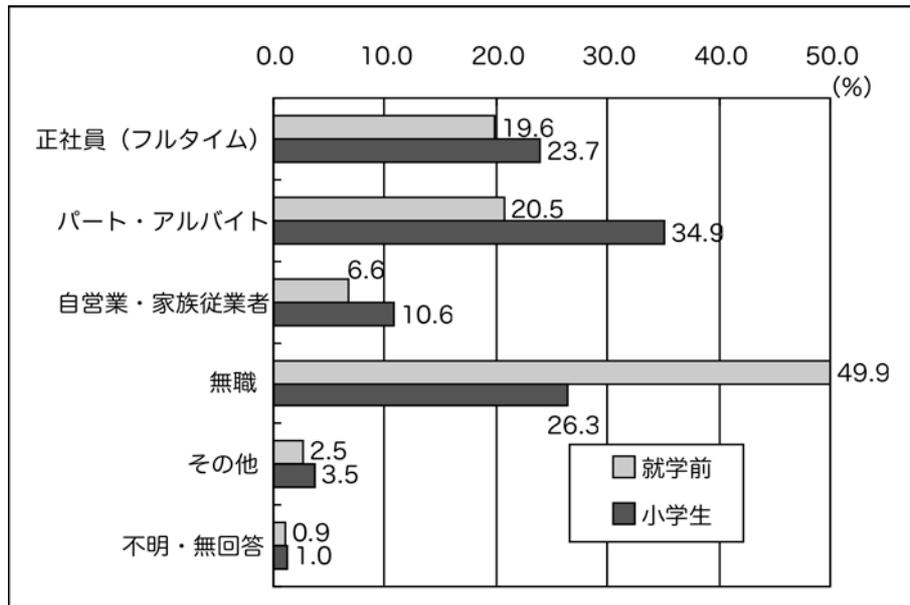
## (1) 男女共同参画社会づくり

女性が出産や育児によって就労等に関わる社会的位置を失うこと、母親役割を神聖視する意識、仕事優先の企業風土、子育ての社会的支援の遅れなどが、女性の出産・育児への不安感や負担感を増大させていることが指摘されます。こうしたことが、未婚化・非婚化の進展など結婚観の変化につながり、また、晩婚化や「出産の先延ばし」といわれる晩産化にも結びついています。

加西市においても、こうした状況は見過ごせません。女性の労働力率のグラフはいわゆる「M字」を描いており、アンケート調査結果とともに、女性が結婚、出産、育児を理由として仕事を辞め、その後、子どもがある程度成長した段階で再び就労している実態がうかがえます。また、このときの就労は、パートやアルバイトなど不安定な形態が多くなっています。なお、アンケート調査結果では「子どもの世話を主にするひと」の9割以上が母親となっており、「男は仕事、女は家庭」から「男は仕事、女は家庭と仕事」という新たな性別分業の状況が生まれていることを示しています。



## 【母親の仕事：アンケート調査結果より】

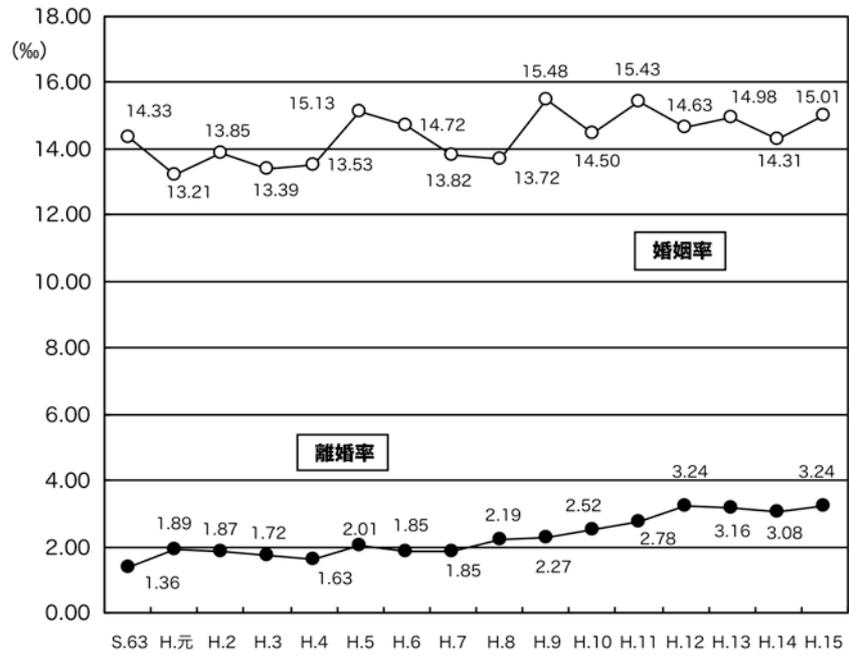


私たちは、男女共同参画社会づくりが少子化をめぐる社会の構造的課題を解決するための有力な糸口であるとの認識を持ち、「子どもを生みたくても生めない社会」から、まさに加西市エンゼルプラン（前計画）が目標として掲げた「安心して子どもを産み育てられる社会」への転換を図っていく必要があります。そのために「育児の社会化」「働き方の見直し」等を具体的に進めていかねばなりません。

同時に、結婚観や就労観の変化がもたらしている社会現象についても注目する必要があります。離婚が増加していることなどにより、子育てに課題を抱える若い母親も増えてきていますので、これを支えるサービスの提供充実と地域づくりも進めていく必要があります。

他方では、フリーターや若年失業者、ニート、パラサイト・シングルなどと言われる人たちが増加しています。これらに対応して、若者が結婚観や就労観、社会観をかん養できるよう人と人との多様な交流を促し、また、就労への意欲や夢を持てる地域社会をつくっていかねばなりません。こうしたことによつて若者の生活基盤の強化を図り、また、自立した暮らしの確立を応援していくことが求められます。

### 婚姻・離婚率の推移



出典：加西市統計資料（各年3月31日現在）

## (2) 保育サービス等のニーズの多様化・拡大への対応

女性の社会参画が当たり前のこととして捉えられるようになり、平成9年の児童福祉法の改正を受けて、保育サービスは「保育に欠ける子を措置する」ものから「保育を必要とする人が利用する」ものへと大きく変わりました。これに伴って保育ニーズのありようもますます多様化し、サービスの対象と役割も、子どもと子育てを総合的に応援するものへと拡大してきています。加西市においても、ニーズの動向に即応して保育所開所時間の拡大に努めるなどしてきています。今後とも通常保育事業の充実を図っていくとともに、一時保育や託児など不特定の保育ニーズや、放課後学童の預かり、養育者への支援のニーズなどに応え、就労と育児の両立を中心とした、柔軟なサービス提供を図ることが求められます。

### ■認可保育所の事業内容

平成10年4月1日現在

	保育所名	保育時間		時間外保育		乳児保育 実施月年齢	特別保育事業		
		平日	土曜	早朝	延長		障害児保育事業	開所時間延長促進事業	
公立	九 会保育園	8:00~16:00	8:00~12:00	7:30~8:00	16:00~17:30	概ね8ヶ月	全園受け入れ		
	田 原保育園				16:00~17:00				
	別 府保育園				16:00~17:00				
	日 吉保育園				16:00~17:30				
	宇 仁保育園				16:00~17:00				
	泉第一保育所				16:00~17:30				
	泉第三保育所				16:00~17:00				
	賀 茂保育所				16:00~17:30				
	北条南保育所				16:00~17:00				
	北条西保育所				16:00~17:30				
私立	富 田保育所	8:30~16:30	8:30~14:00	7:00~8:30	16:30~19:00	産休明け	全園受け入れ	7:00~19:00	
	多 聞保育園	8:00~16:00	8:00~13:00	7:00~8:00	16:00~18:30			7:00~18:30	
	善 防保育所	8:30~16:00	8:30~12:00	7:00~8:30	16:00~18:30 土;12:00~13:00			7:00~18:30	
	白 竜保育園	8:00~16:00	8:00~12:00	7:30~8:00	16:00~18:00 土;12:00~13:00				
	北 条保育園	8:30~16:30	8:30~12:00	7:30~8:30	16:30~18:00			10ヶ月	
					土;12:00~12:30				



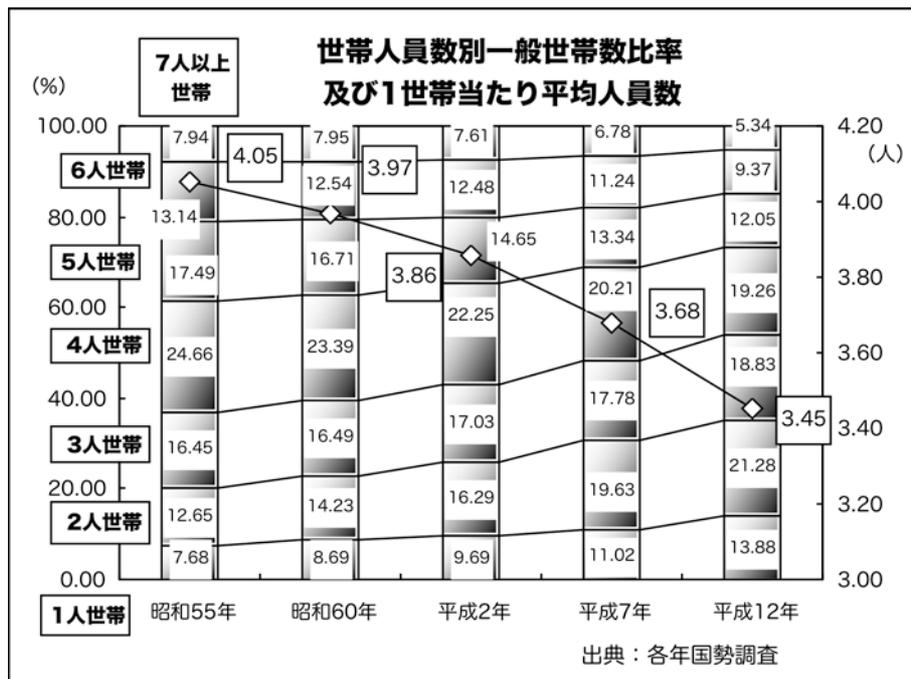
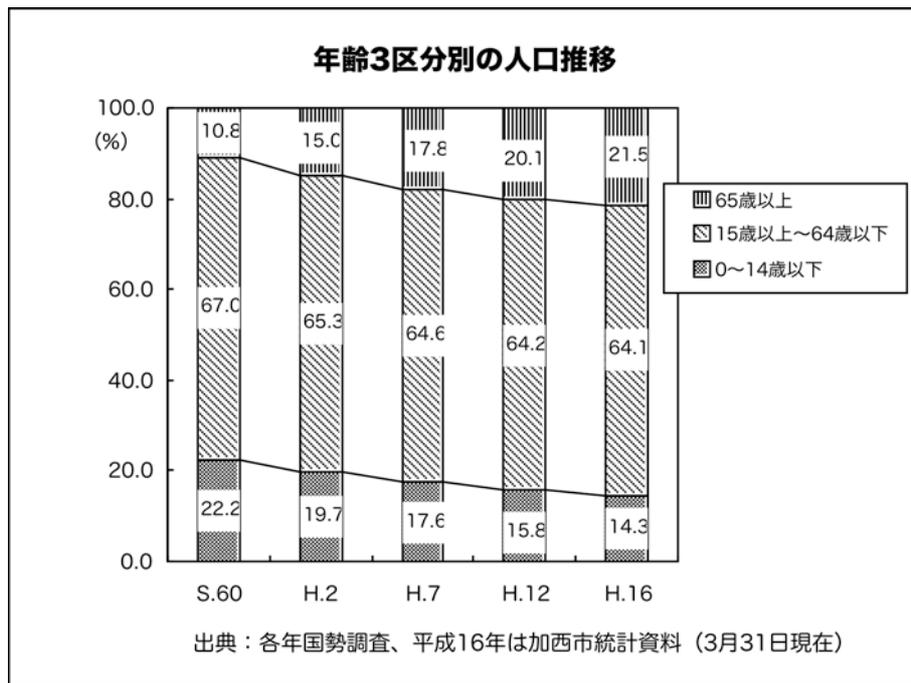
平成16年4月1日現在

	保育所名	保育時間		時間外保育		乳児保育 実施月年齢	障害児保育事業	
		平日	土曜	早朝	延長			
公立	九 会保育園	8:00~16:00	8:00~12:00	7:30~8:00	16:00~18:00	概ね8か月	全園受け入れ	
	田 原保育園				16:00~18:00			
	別 府保育園				16:00~18:00			
	日 吉保育園				16:00~18:00			
	宇 仁保育園				16:00~18:00			
	泉第一保育所				16:00~18:00			
	泉第三保育所				16:00~18:00			
	賀 茂保育所				16:00~18:00			
	北条南保育所				16:00~18:00			
	北条西保育所				16:00~18:30			
私立	富 田保育所	8:00~17:30	8:30~13:30	7:00~8:00	17:30~19:00 土;13:30~17:30	産休明け	全園受け入れ	
	多 聞保育園	8:00~16:00	8:00~13:00	7:00~8:00	16:00~19:00			
	善 防保育所	8:00~16:00	8:00~13:00	7:00~8:00	16:00~19:00 土;13:00~19:00			
	白 竜保育園	8:00~16:00	8:00~12:00	7:00~8:00	16:00~19:00 土;12:00~13:00			8か月
	北 条保育園	8:30~16:30	8:30~12:00	7:30~8:30	16:30~19:00			
					土;12:00~12:30			

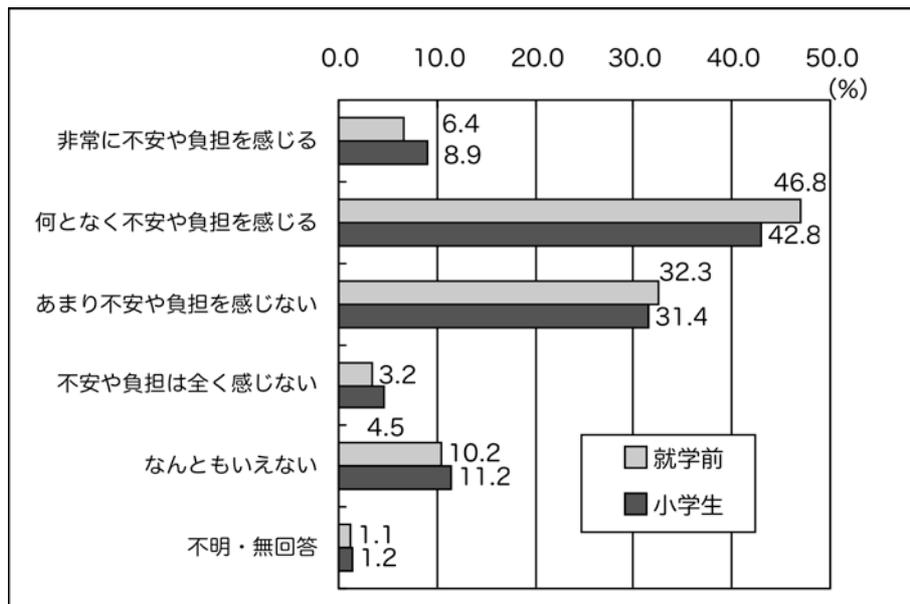
出典：加西市資料

### (3) 子育て環境の貧困化・弱体化 (家庭・地域の「子育て力」の低下) への対応

子どもを養育する責任は、なにより親が担うべきものであり、この点から従来より「家庭」を単位とした子育てをしていました。しかし、核家族化や少子・高齢化等を背景として家族のあり方が変容するなかで、子どもを養育する機能を今日の「家庭」が単独では果たしにくい状況にあります。



## 【子育てに関する不安感や負担感：アンケート調査結果より】



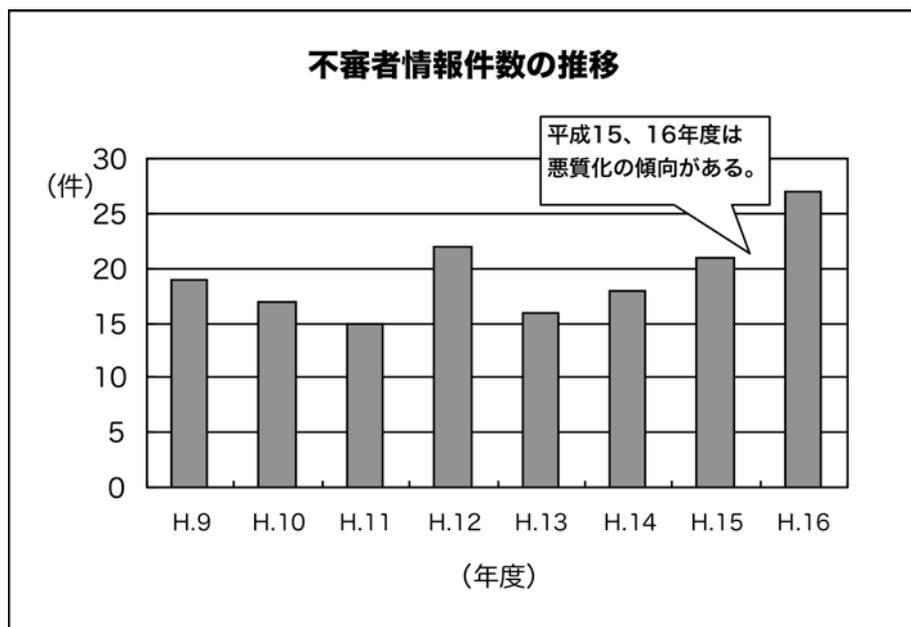
特に、家庭や地域における人間関係の希薄化・空疎化が、子どもや子育て家庭の生活におけるコミュニケーションを貧しくさせていることが問題視されるところです。

このため、同じ年頃の子どもや、異年齢の子ども、子育て中の親子、障害のある人、お年寄り、地域のおとななど、互いが交わりふれあっていく多様な人間関係を巻き起こしていくことで、子どもの育ちと子育てを地域社会全体で応援する雰囲気を作っていくことが重要となっています。加えて、日常の遊びや生活、そして学校教育等を通じて、子どもが豊かな自然体験や充実した社会体験が得られる場と機会づくりに努め、子どもたち自身が主役となって存分に輝けるようにしていく必要があります。

#### (4) 子どもと子育ての安全確保

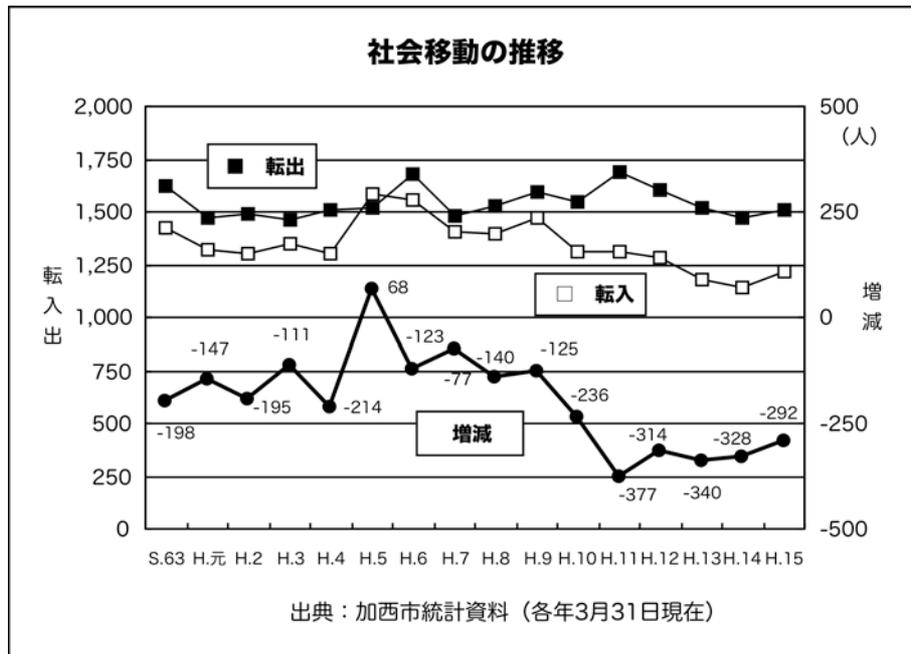
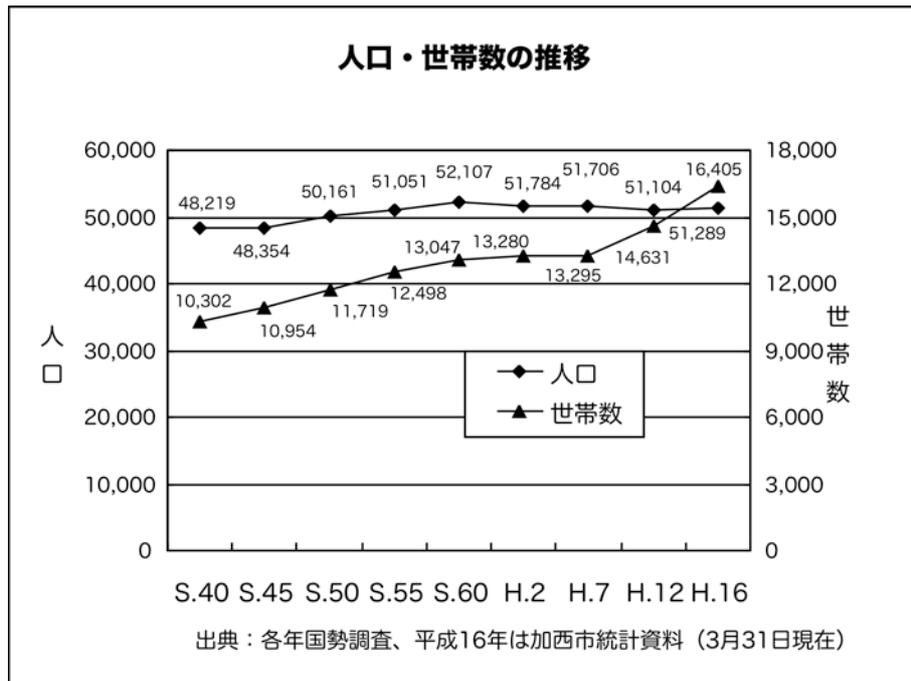
子どもの生命と人権を守り尊重することは、私たちおとなの当然の責務です。医療、保健、福祉、教育等の各分野が、それぞれの取り組みを充実させ、かつ、緊密に連携して、加西市の子どもの生命と健康、伸びやかな育ちを保障していかねばなりません。また、まち全体を子どもが利用しやすく、子ども連れで行動しやすい「子育てバリアフリー」としていくことも、基本的な視点として踏まえる必要があります。

連日のように子どもが犯罪被害者となる報道がなされています。加西市でも不審者情報件数の増加・悪質化の傾向が見られるなどしています。地域社会全体が子どもと子育てを見守り、応援することを改めて確認し、子どもを犯罪や事故・災害等の危険から守っていくことが強く求められています。



## (5) 子どもを育てたいと思えるまちづくり

日本全体がさらなる少子・高齢化と人口減少の時代を迎えようとしている今日、本市においても、少子・高齢化がますます進行しています。これに若年層などの市外流出傾向が拍車をかけている状況にあります。



このような時代を生き抜き乗り越えて加西市が発展し続けていくため、本市では第4次加西市総合計画に基づいて「加西市に住み続けたい」「加西市を訪れてみたい」「加西市に移ってきたい」と人々が思うことのできるまちづくりを進めています。特に「子育てをするなら加西市で」と言われるように、また、加西市で育った子どもたちに「ふるさと加西で暮らしたい、子育てをしたい」と思ってもらえるように、まちとしての発展を目指していくことは、重要な視点です。

様々な子育て支援施策の拡充を含め、子育てをしたくなるような地域づくりを総合的に進めることによって子どもを生み育てる世代の市内定住の促進を図るとともに、子どもの声に耳を傾け、その声をまちづくりに反映する取り組みを充実させる必要があります。